

# 調査研究および情報提供事業等に必要な経費

## 情報センター事業費

1. 催し等事業費
  - (1) 国内連携促進
  
2. 文化資料事業費
  - (1) 定期刊行物
  - (2) 年次報告
  - (3) インターネット
  - (4) JFサポーターズクラブ
  
3. 調査研究費
  - (1) JFIC事業
  - (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）
  - (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）
  
4. その他
  - (1) 後援名義の付与

1. 催し等事業費 / (1) 国内連携促進

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした各種セミナーを開催する。

合計額 1,492,461 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	仙台クリエイティブフォーラム 「交差するクリエイティブ・パワー」	仙台市経済局、宮城県立美術館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金の国内連携事業の一環として、海外のメディア・フェスティバル関係者を招へいして国際フォーラムを開催。仙台市とその隣接する地域では、映像メディア、現代アート、建築、デザインなどのクリエイティブな活動を軸に、街を再生しようとする動きが高まっており、仙台を拠点とするクリエイターたちが世界に進出し始めている。同様な活動を行っている海外のネットワークとつながり、情報やノウハウの共有とともに人的なネットワークを広げることを目的として開催。
2	フェスティバル参加	あーすフェスタかながわ実行委員会、グローバルフェスタ2008実行委員会、ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会、ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会	2008.04.01 ~ 2009.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルにてブース出展、セミナーを実施。神奈川（あーすフェスタかながわ）、東京（グローバルフェスタ）、大阪（ワン・ワールド・フェスティバル）、名古屋（ワールド・コラボ・フェスタ）に協力。

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 定期刊行物

国際文化交流に関する専門誌『をちこち（遠近）』（和文）を、隔月にて発行する。

合計額 40,760,106 円

	事業名	部数	事業内容
1	をちこち（遠近）22号	7,000	テーマ「遠くて近い ブラジル」 2008年4月1日発行
2	をちこち（遠近）23号	7,000	特集テーマ「翻訳がつくる日本語」 2008年6月1日発行
3	をちこち（遠近）24号	7,000	特集テーマ「変わりゆくインドネシア」 2008年8月1日発行
4	をちこち（遠近）25号	7,000	特集テーマ「世界を結ぶアート」 2008年10月1日発行
5	をちこち（遠近）26号	7,000	特集テーマ「イギリスの底力」 2008年12月1日発行
6	をちこち（遠近）27号	7,000	特集テーマ「世界の研究者が見つめるNIPPON」 2009年2月1日発行
7	をちこち（遠近）28号	7,000	特集テーマ「多様性を繋ぐドナウ」 2009年4月1日発行
8	をちこち（遠近）29号	7,000	特集テーマ「世界と出会う歌舞伎」の刊行準備（2009年6月1日発行）

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (2) 年次報告

年度ごとに国際交流基金の活動について総括・報告する年報を発行する。

合計額 15,993,342 円

	事業名	事業内容
1	和文・英文年報2007	国際交流基金の2007年度（平成19年度）事業に関する和文年報（9,000部）および英文年報作成（5,000部）の作成、送付。
2	事業実績	国際交流基金2006年度（平成18年度）事業に関する事業実績の作成

2. 文化資料事業費 / (3) インターネット

ウェブサイト、eメールマガジンを通じて、公募プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行う。

合計額 18,110,421 円

	事業名	事業内容
1	国際交流基金ウェブサイトの運営	国際交流基金の事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供。 URL : <a href="http://www.jpff.go.jp/">http://www.jpff.go.jp/</a>
2	メールマガジン	国際交流基金の事業に関する情報をメールマガジン（和・英）で配信。
3	ブログ	国際交流基金の事業に関する告知や報告をブログで公開。
4	動画配信	ウェブサイト上で国際交流基金の実施した公演、展覧会、セミナー・シンポジウム等の映像ファイルを公開。

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (4) JFサポーターズクラブ

国際交流基金事業への支援者を対象として、国際文化交流事業に参加してもらうことを目的としたJFサポーターズクラブを運営する。

合計額 4,363,306 円

	事業名	事業内容
1	JFサポーターズクラブの運営及びイベントの実施	JFサポーターズクラブ会員への広報をする場として、また新規会員獲得の場として、国際交流基金事業に関連するトークイベント、講演会、コンサート、国際交流基金附属日本語国際センター授業見学会などを実施。

3. 調査研究費 / (1) JFIC事業

国際文化交流に関する情報の照会及び日本に関する情報の照会に対応するための情報センターを運営する。

合計額 45,678,489 円

	事業名	事業内容
1	JFICライブラリーの運営	国際交流基金の実施事業に関する出版物や事業ファイル、国際文化交流・文化政策に関する図書資料、外国語で書かれた日本紹介図書・映像資料などを所蔵（図書32,454冊、雑誌300冊、視聴覚資料618点、マイクロ資料1,738点）。研究者はもとより国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報を提供している。国際交流基金本部の移転に伴い、2008年7月22日より再開。

3. 調査研究費 / (2) 国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞)

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 22,899,985 円

	種別	受賞者	現職	対象国	受賞理由
1	国際交流基金賞 (文化芸術交流部門)	マルコ・ミュラー	ヴェネチア国際映画祭 ディレクター	イタリア	欧州の主要な国際映画祭のディレクターとして、日本をはじめとするアジアの優れた映画を見出して積極的に紹介し、日本映画の豊かさを広く海外に知らせることにより、世界の新たな文化創造に大きく貢献した功績を称え、国際交流基金賞(文化芸術交流部門)を授与。
2	国際交流基金賞 (日本語部門)	アンジェラ・ホンドゥル	ヒペリオン大学言語学部 日本語・日本文学科 教授	ルーマニア	ルーマニアにおける日本語教育の草創期より長年にわたり、教師、教科書執筆者、研究者として日本語普及を積極的に行うとともに、日本の近現代文学のルーマニア語への翻訳を通して日本文化の紹介に大きく貢献した功績を称え、国際交流基金賞(日本語部門)を授与。
3	国際交流基金賞 (日本研究部門)	ケネス・パイル	ワシントン大学歴史学部 同大ヘンリー・ジャクソン・スクール 教授	米国	日本近・現代史を中心とした学術研究において多大な業績を挙げるとともに、日本研究学術誌の編集委員長や日米関係の各種委員会の要職を務め、米国における対日理解、日本研究の発展と日米の学術交流に大きく貢献した功績を称え、国際交流基金賞(日本研究部門)を授与。

3. 調査研究費 / (3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際文化交流活動のモデルとして、広く参考になる先導的な活動を行なっている国内団体、個人を顕彰する。

合計額 11,180,414 円

	受賞者	都市	受賞理由
1	特定非営利活動法人 S-AIR	北海道札幌市	1999年の創設以来これまでに世界27カ国から57名の若手芸術家などを受け入れ、地域に滞在しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」事業を毎年継続して実施し、地域に世界のアートを紹介するとともに、国内外のアーティストとの独自のネットワークを築いてきている。またアーティストが小学校に滞在しながら創作し、アートを教育の現場に持ち込むことによって子どもたちの感性をはぐくむ「アーティスト・イン・スクール」事業、「冬」を取り上げたアート・フェスティバルの企画など、子どもたちや市民とのつながりを重視しながら、地域に根ざした文化交流事業の先進的な例となる活動を行っている。
2	特定非営利活動法人 大泉国際教育技術普及 センター	群馬県大泉町	人口の約1割がブラジル人という大泉町において、ブラジル人学校に通う子どもたちが自信をつけられるよう、学習成果と自分の得意な演奏やパフォーマンスを発表するブラジル青少年フェスティバルを開催。ブラジル人と地域住民が相互に文化を教えあう事業など交流促進と相互理解を深める事業や、日本語学習の支援事業なども展開し、ブラジル人の子どもたちの健全な育成のために日本での生活に必要な言語、習慣、文化の習得を図り、また多文化の共生を積極的に生かすコミュニティの実現に向けて活動を行っている。
3	スキヤキ・ミーツ・ ザ・ワールド実行委員 会	富山県南砺市	地域の若者を中心に、普段なかなか触れる機会のないアジア、アフリカ、中南米などの音楽を紹介する「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」フェスティバルを1991年より毎年開催し、海外アーティストと地域の住民や子どもたちが交流する体験型のワークショップも企画するなど、異文化とのさまざまな出会いの場を意欲的につくりだし発展させてきている。このような活動のなかから、地域住民による世界の民族音楽を演奏するグループも誕生し、海外にも派遣されるなど、地域を拠点に世界への発信をもめざした国際的な広がりをもった文化活動を地域に根付かせてきている。

4. その他 / (1) 後援名義の付与

合計額 0 円

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
1	19	第3回 中国日本語スピーチコンテスト	日本、中国	日本経済新聞社	2008. 04. 01 ~ 2008. 07. 14	日本語スピーチコンテスト。中国の8都市で予選を行い、中国人大学生16人を選び、日本に招いて本選を実施。同時に日本の政界・財界人や大学生たちとの交流を実施。
2	19	日本さくら (SAKURA) in Vietnam	ベトナム	財団法人日本・ベトナム文化交流協会	2008. 04. 05 ~ 2008. 04. 06	「よさこいストリートパフォーマンス」、春、桜をテーマにした絵画、写真、展示、日本の観光ポスター展示、伝統芸コーナー等ベトナム国民に日本文化体験の機会を提供。
3	19	第4回香港中高生日本語スピーチコンテスト	香港	香港日本語教育研究会	2008. 04. 13	香港の中高校生の日本語学習を奨励するために行なう日本語スピーチコンテスト。優勝者を、7月に日本のNPOが行う海外高校生日本語スピーチコンテストへ派遣。
4	19	第14回日本・インドネシア美術文化展覧会 (東京展)	日本	インドネシア美術研究会	2008. 04. 18 ~ 2008. 04. 24	インドネシアと日本の相互理解を深め、両国作家の相互研鑽と交流を図る目的で行う国際美術展。ジャカルタと東京で隔年に実施し、2008年は、東京で開催。
5	19	愛知県立芸術大学アーティスト・イン・レジデンス「『メンデルスゾーン・スペシャル2008』<2009メンデルスゾーン誕生200年に先駆けて、J. ヴォルフガング・ヤーン氏とともに>」	日本	愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学	2008. 04. 20 ~ 2008. 05. 01	アーティスト・イン・レジデンスプログラムで滞日中のJ. ヴォルフガング・ヤーンが中部地域および愛知県立芸術大学生に向けてメンデルスゾーン作品鑑賞の機会を提供。
6	19	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン	日本	東京国際フォーラム	2008. 04. 29 ~ 2008. 05. 06	「シューベルトとウィーン」をテーマに、シューベルトおよび彼と同時代のウィーンで活躍した作曲家たちを特集したコンサートを開催。
7	19	世界麺フェスタ 2008 in さぬき	日本	世界麺フェスタ 2008 in さぬき実行委員会	2008. 05. 02 ~ 2008. 06. 15	「シルクロードは麺ロード」をキーワードに、観光振興、文化振興および国際交流を目的に、シルクロード沿いの国々の食、音楽、民族舞踊などの専門家を招いて市民との交流の機会を提供。
8	19	あーすフェスタかながわ 2008	日本	あーすフェスタかながわ2008実行委員会	2008. 05. 17 ~ 2008. 05. 18	神奈川県在住の外国人およびNGO等が企画運営し、ディスカッション、ワークショップ、公演等を通じて「多文化共生・国際理解」について考える機会を提供。



情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
9	19	平山郁夫シルクロード展	日本	読売新聞東京本社	2008.05.21 ~ 2008.06.28	日仏修好通商条約締結150周年を記念して、日本画壇を代表する平山郁夫の個展を開催。
10	19	第29回世界アマチュア囲碁選手権	日本	財団法人日本棋院	2008.05.28 ~ 2008.05.31	69カ国・地域から69名の代表選手が参加し、スイス・システムによる個人対局を行い、世界アマチュア・ナンバー・ワンを決定。
11	19	第9回大阪国際音楽コンクール	日本	大阪国際音楽振興会	2008.06.01 ~ 2008.10.13	ピアノ・弦楽器を学ぶ小学校3年生以上、管楽器・声楽を学ぶ中学生以上の者の音楽コンクールを実施。ファイナルでは、賞を付与すると共に、演奏の場を提供。
12	19	日中平和条約締結30周年記念 日中友好・女声合唱団「黎明」公演	中国	日中友好・女声合唱団「黎明」	2008.06.04 ~ 2008.06.10	中国・済南において開催される国際女性文化フェスティバル（一般市民2万人が集うパレード、交流音楽会）で、「黎明」が公演。
13	19	ブラジル映像祭&ハイビジョン機器展	ブラジル	NHKインターナショナル	2008.06.06 ~ 2008.06.22	「日伯交流年」および地上デジタル放送開始年を記念して、映像祭による日本文化の紹介と、機器展による日本のハイビジョン技術をブラジル国民に広く紹介。
14	19	ミュージック・マスタートーズ・コースinかずさ2008	日本	ミュージック・マスタートーズ・コースinかずさ実行委員会	2008.06.08 ~ 2008.06.27	講師陣が世界各国の受講生と合宿生活を送り、国際交流をしながら、室内楽を中心としたクラシック音楽の国際集中セミナーを実施。
15	19	和リーグ「タタク旋律 弾むオトダマ」	日本	株式会社インベックス	2008.07.17	世界各国の打楽器により新たなリズムの融和を図ることで、国際文化交流や異文化理解を促進。
16	19	第29回霧島国際音楽祭	日本	財団法人ジェスク音楽文化振興会	2008.07.18 ~ 2008.08.03	日本およびアジアの若手音楽家を対象とした、マスタークラスと演奏会を開催。
17	19	第1回とやま世界こども舞台芸術祭	日本	とやま世界こども演劇祭実行委員会	2008.07.31 ~ 2008.08.05	子供の創造性を陶冶し、国際的な文化交流と友好親善に資することを目的に、子供のための芸術研修（舞台公演及び研究・討論）を実施。異文化の尊重と、芸術の共感・感動を通して人間性の育成を図った。
18	19	第12回広島国際アニメーションフェスティバル	日本	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	2008.08.07 ~ 2008.08.11	国境や言語を越えて人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、「愛と平和」を希求する祭典。コンペティション（公開審査）、作品上映会、アニメーション関連の展示等を行った。
19	19	こどもとおとなへの音楽の贈り物 バルトーク・ベーラ作曲『児童と女声のための合唱曲集』全曲演奏会	日本	福島コダーイ合唱団	2008.08.11 ~ 2008.08.12	バルトーク・ベーラ『児童と女声のための合唱曲集』が日本でも多くの人々によって歌われることを願って、全曲演奏会を行った。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
20	19	日韓若手音楽家交流コンサート	日本	日韓若手音楽家交流コンサート from Switzerland	2008.08.27 ~ 2008.09.01	日本人、韓国人の若手音楽家によるパイプオルガン等のコンサートを行ない、両国間の更なる理解、文化交流を図った。
21	19	平成20年度日本語教育能力検定試験	日本	財団法人日本国際教育支援協会	2008.10.19	日本語教員となるために学習している者、日本語教員として教育に携わっている者等を対象に、その知識および能力が日本語教育の専門家として必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定する試験を実施。
22	19	日仏交流150周年・源氏物語千年紀公演「GENJI（六條御息所）」	フランス、日本	関西テレビ放送株式会社	2008.10.29 ~ 2009.02.22	源氏物語千年紀（2008年11月）に際し、日本の伝統芸能である能楽と邦楽の共演による新作舞台芸術をパリで紹介。演目は世界最古の小説である源氏物語にちなんだ新作「GENJI（六條御息所）」。京都、東京でも上演。
23	20	『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画『フェアブルにまなぶ』展	日本	日仏共同企画『フェアブルにまなぶ』展実行委員会	2007.07.01 ~ 2008.11.30	仏昆虫学者フェアブルによる『昆虫記』刊行後100年を機に、フェアブルの業績紹介とこの100年間の昆虫学および関連分野の研究の進展と現状を概観する展示会を日仏共同開催。国際交流および自然科学の啓発と普及に貢献することを目的に実施。日本の博物館5館（北海道大学総合博物館、国立科学博物館、北九州市立いのちのたび博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、兵庫県立・人と自然の博物館）で開催。
24	20	クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会	日本	財団法人国際文化フォーラム	2008.06.14	日本の高校生が韓国語と韓国文化に対する関心を高め、韓国語による表現力や伝達力を向上させることを目的としたスピーチ・コンテストを開催。
25	20	2008金沢工業大学/米国図書館・情報振興財団 図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	日本	学校法人金沢工業大学	2008.07.10 ~ 2008.07.11	「e-サイエンス」を主題に、この領域で最も先進的な活動を行っている米国議会図書館、大学図書館および研究調査図書館における事例を中心にした会議を開催。
26	20	渋沢栄一賞実施事業	日本	埼玉県	2008.07.01 ~ 2009.02.28	多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力した渋沢栄一翁の業績をたたえ、渋沢栄一翁の精神を今に受け継ぐ健全な企業活動を営むとともに社会貢献活動が顕著な企業または企業経営者に渋沢栄一賞を授賞。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
27	20	国際将棋フェスティバル2008 in 天童	日本	社団法人日本将棋連盟	2008.11.07 ~ 2008.11.09	天童市市制50周年の祝賀行事として「国際将棋フェスティバル」を天童市と共催。国際観光都市としての一面を持つ天童市より将棋を世界に発信し、国際交流と国際親善を進めていくため、「将棋の日」と「国際将棋トーナメント」を中核とした記念行事を実施。
28	20	日本中国写真文化交流協会展「2008中国」	日本	NPO法人日中写真文化交流協会	2008.06.26 ~ 2008.12.20	日中文化交流促進のため、2008年に日中の写真家が世界遺産・故宮（北京）で撮影した作品による共同写真展を開催。
29	20	中国5大学への朝日新聞記事データベース無償提供事業	中国	社団法人日本中国友好協会	2008.06.30 ~ 2010.06.30	中国の主要5大学（北京大学、精華大学、北京外国語大学、中国人民大学、北京師範大学）の日本語学科で学ぶ大学生たちに朝日新聞記事データベース「聞蔵（きくぞう）」を2年間無償で提供。
30	20	第2回日比NGOシンポジウム「ミレニアム開発目標に向けてのフィリピン貧困層のエンパワメント～日比NGOのパートナーシップ構築～」	日本	アジア・コミュニティーセンター 21	2008.07.17 ~ 2008.07.19	日比両国のNGOをはじめとする市民社会セクター間のパートナーシップ関係を構築し、長期協働計画をたて、フィリピン社会の貧困層のエンパワメント（地位向上）に寄与することを目的に、本シンポジウムを東京で開催。
31	20	第1回 日本語体験コンテスト in ホーチミン	ベトナム	財団法人共立国際交流奨学財団	2008.08.30	ベトナムのホーチミン市近郊で日本語を学習する大学・高校生を対象に、日本の地理・政治等に関するクイズを行い、予選通過者に即興で日本語でスピーチ(3分間)を行ってもらい、入賞者を「夢・日本体験賞（6泊7日）」に招待
32	20	第49回海外日系人大会	日本	財団法人海外日系人協会	2008.10.01 ~ 2008.10.03	海外在住日系人が母国で一堂に会し、居住国の実情を日本に知らせ、併せて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図った。
33	20	第30回記念 日本文化デザイン会議 2008	日本	日本文化デザインフォーラム	2008.06.14 ~ 2008.07.14	第30回記念日本文化デザイン会議2008の開催
34	20	上海民族楽団日本公演	日本	株式会社NHKプラネット中部	2008.11.11 ~ 2008.11.15	上海民族楽団の日本初公演に際し、5年間に渡り同楽団の精鋭6人とユニットを組んでコンサート活動を開催してきた雅楽師東儀秀樹を特別ゲストに迎えて実施。
35	20	第30回びあフィルムフェスティバル	日本	びあ株式会社	2008.07.19 ~ 2008.07.25	「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに全国の映画監督を目指す、アマチュアを対象に1997年から継続して開催している映画祭

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
36	20	第5回「国際理解短歌コンテスト」	日本	中部大学国際関係学部	2008.07.01 ~ 2008.09.30	中部大学国際関係学部では「世界の平和を人々の幸せ」をテーマに、2004年から毎年度「コンテスト」を実施し、これまでに18,903首の応募があった。2008年も引続きコンテストを開催し、日本の真の国際化に向けた更なる貢献を行う。
37	20	ノーベル文学賞受賞者 オルハン・パムク氏講演会「表現の可能性」 —京都精華大学 人文 学部総合人文学科開設 記念—	日本	京都精華大学	2008.05.18	オルハン・パムクの独自の表現世界を高校生や一般市民に広く公開し、国境や言語の枠組みを越えた普遍的な文学表現の可能性について考える機会を設けることを目的とする。 自著の随筆集『Other Colors』をトルコ語で朗読の後、文学表現とイメージ表現との関係に関する講演を実施。
38	20	日仏友好コンサート	日本	日仏友好コンサートを 開催する会	2008.09.12 ~ 2008.09.13	日仏修好通商条約（1858）及び横浜開港（1859）150周年を祝い、更なる文化創造のため、日本とフランスの演奏家による友好コンサートを開催。
39	20	夏期教員ワークショップ	日本	武蔵野市国際交流協会	2008.07.29 ~ 2008.07.31	「学校と地域をつくる国際理解教育」をテーマに、地域に暮らす外国人やNGOとの協働での授業づくりを推進することを目的に、国際理解教育の理念・理論および参加型学習の手法や実践事例を紹介しながら、教員が授業実践のイメージを獲得できる場を提供。
40	20	“サムルノリ”誕生30周年 記念・日本公演	日本	有限会社 プラネット アーツ	2008.06.25 ~ 2008.07.04	韓国が誇る世界的な打楽器集団「サムルノリ」の誕生30周年を記念した日本公演
41	20	第21回 JAPAN TENT —世界留学生交流・い しかわ2008—	日本	JAPAN TENT開催委員会	2008.08.21 ~ 2008.08.27	国際社会の未来を担う世界各国・地域からの留学生を石川県に招き、国際交流を図るとともに、若者達の夢と希望、そして日本の社会・文化・生活などについて意見を交換する
42	20	チャイニーズ・ドリーム in 丸の内 - 中国 現代美術展	日本	株式会社ツァイト・ フォト	2008.08.08 ~ 2008.08.21	8月に開催される北京五輪に合わせ、世界の注目を集めている中国現代美術を、油絵を中心にした約30点の作品で紹介。
43	20	第45回全国国際教育研究 大会 埼玉大会	日本	全国国際教育研究協 議会	2008.08.21 ~ 2008.08.22	「持続可能な発展のための教育活動（Education for Sustainable Development）」を大会テーマに、基調講演、研究発表「留学生への日本語指導～持続的発展を支える地球人の育成」、「NHK教育テレビ『エリンが挑戦！にほんごできます』を通して」、分科会「埼玉県高校生世界円卓会議」「日本人としてどう生きるか」に加え、高校生英語弁論大会、留学生日本語弁論大会を実施。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
44	20	ヘレニズムの華ペルガモンとシルクロード	日本	財団法人 中近東文化センター	2008.09.06 ~ 2009.06.15	ベルリンのペルガモン博物館所蔵の作品を中心に、ヘレニズム文化の最も栄えた都市の一つペルガモン（トルコ北西部）、特に大祭壇、そしてドイツのカール・フーマンによるペルガモン発掘に焦点を当てた展示会。同時に平山郁夫コレクションのガンダーラ仏教美術の優品や平山氏の水彩画を展示、遠く日本にまで影響を及ぼした世界文化ヘレニズムの東漸の流れ、そのダイナミズムを追う。
45	20	丹波の森国際音楽祭 シューベルティアード たんば 2008	日本	丹波の森国際音楽祭 シューベルティアード たんば実行委員会	2008.09.07 ~ 2008.11.09	丹波地域からシューベルトの音楽を通じた地域交流・国際交流のなお一層の推進を図るため、音楽祭を開催。
46	20	第34回全国語学教育学会年次国際大会	日本	特定非営利活動法人 全国語学教育学会	2008.10.31 ~ 2008.11.03	第二言語・外国語としての言語教育の理論と実践を様々な角度から大会参加者と共に考える。語学教育専門家を招へいし、大会テーマに沿った基調講演を行う
47	20	第10回語学留学生の祭典「進学・就職・国際フェア」	日本	日本語学校ネットワーク	2008.10.22	大学・専門学校の学校紹介ブース、企業ブース、各国の文化紹介ブースを設け、日本語学校卒業後の進路を広く学生に紹介。また、国際交流および日本を理解する場を提供。
48	20	第24回東京千楽会定期演奏会	日本	東京千楽会	2008.09.27	地歌箏曲の普及とその発展を目的とする演奏会。2008年度の国際交流基金内田フェローシップのフェロー、ロージー・リー博士作曲の作品を初演。
49	20	福岡県民セミナー「日韓文化紹介の軌跡—5年間の歩み—」	日本	九州大学韓国研究センター	2009.01.30	過去5年間実施してきた県民セミナーに区切りをつけることとなり、今後の更なる日韓文化交流及び相互理解の促進を期して、これまでに紹介してきた様々な日韓共通の文化を一堂に集めて紹介した。
50	20	福岡県民セミナー「韓の国、風の舞」	日本	九州大学韓国研究センター	2008.10.24	伝統音楽と結合して成立している舞踏の紹介は、日本における韓国文化理解の上でも極めて重要であると考えた。日韓の舞踏講師を迎え、舞踏を通して日韓の文化をより身近に感じてもらおうと、今回のテーマを選んだ。
51	20	第30回ぎふアジア映画祭	日本	ぎふアジア映画祭実行委員会	2008.11.29 ~ 2008.12.06	アジア各国の映画を上映することによって、その国の文化風習などに触れる機会を提供し、アジアの文化交流を深める場とした。また、上映作品の関係者によるゲストトーク等の企画も合わせて実施。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
52	20	芸術と生活の根—李朝の興—	日本	京都造形芸術大学	2008. 11. 28 ～ 2008. 12. 23	比較芸術学研究センターのテーマである「芸術と生活」から、韓国文化に焦点をあてて展示、研究を行う。財団法人出羽桜美術館所蔵作品の中から〔白磁・文具・酒器・虎と生物〕に関係する約65点を展示し、李朝時代に生きた人々の芸術と生活に触れ、その時・その場所に生きた人の思想を探る機会を提供。
53	20	第15回大阪ヨーロッパ映画祭	日本	大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会	2008. 11. 01 ～ 2008. 11. 30	15周年目の大阪ヨーロッパ映画祭を開催。これまで延べ30カ国の制作国が参加し、ヨーロッパの現在を伝え、映像技術面や内容の充実した作品を上演してきた。映画上映の他、ヨーロッパの映画関係者をゲストとして招き、観客との交流の場を設けた。
54	20	第21回東京国際映画祭	日本	財団法人日本映像国際振興協会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 26	日本の映画・映像分野における文化と産業の発展への寄与と国際交流の促進を目的としており、上映企画としてコンペティション部門、アジアの風部門、日本映画・ある視点部門などが行われ、シンポジウム、セミナー等も開催。
55	20	第33回ジャパンウィーク 2008年フランス・ストラスブール	フランス	財団法人国際親善協会	2008. 11. 22 ～ 2008. 11. 27	市民レベル、地域レベルでの文化・スポーツをはじめとする多岐にわたる交流を通じて、日本とフランスとの友好親善、相互理解を促進し、さらに両国の地域社会づくりへの貢献を目指した。
56	20	池田卓アコースティックライブ in 吉祥寺	日本	有限会社古典空間	2008. 09. 22	八重山諸島・西表島出身の唄者・池田卓による島唄、及びオリジナル曲のライブ。国際交流基金主催事業として派遣された中東公演の報告ライブとしても位置づけ、都会で暮らす人たちに、離島の生活や人々の想いを”音楽というフィルター”を通して伝え、現代社会と未来への光明を見出す一助となることを目指した。
57	20	第15回陝西省大学生日本語弁論大会（第5回日本語教育セミナーイン西安；第4回日本企業説明会）	中国	社団法人全国日本学生会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 19	国際交流と日本語普及事業を目的に、西安の著名大学の代表者の参加を得て陝西省政府と共催で行う中国・西北地域唯一の日本語弁論大会。日本から水谷修（名古屋外国語大学学長）始め審査員4名を派遣。3部門の優勝者3名を2009年4月14日～23日、日本に招へい。併せて、派遣教授による西安地域の日本語教師を対象とした日本語教育セミナーも開催。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
58	20	第24回北太平洋国際フォーラム	日本	社団法人北太平洋地域研究センター	2008. 10. 06	「北太平洋地域協力の行方-ロシアの新政権と極東戦略」と題して公開フォーラムを実施。パネリストとして谷内正太郎（外務省顧問）、袴田茂樹（青山学院大学教授）等を迎え、モデレーターは木村汎（拓殖大学客員教授）が務めた。
59	20	第7回 大垣国際招待ポスター展	日本	日本国際ポスター美術館	2008. 10. 25 ～ 2008. 12. 20	ポスターを通じ、世界の最近のポスター文化に接し、国際親善・文化理解に役立つことを目的として開催。世界で活躍中のアーティスト68人（18カ国）から最新作のポスターを収集し寄せられた作品218点の中から142点を厳選して展示。
60	20	2008 東京・中国映画週間	日本	日中友好映画祭実行委員会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 22	東京国際映画祭の提携企画として映画祭「2008 東京・中国映画週間」を開催。中国映画の新作・話題作 8本をシネマメディアージュと東京都写真美術館ホールの2会場で上映。併せてセミナー・講演等を開催。
61	20	第20回留学生秋のスポーツフェア	日本	特定非営利活動法人留学生スポーツ交流協会	2008. 10. 13 ～ 2008. 11. 24	日本滞在中の外国人留学生と日本人青年・学生が一堂に会し、スポーツ及び文化の紹介を通じて交流し合い、国際理解を深め、留学生等の日本滞在を支援。
62	20	第95回日本エスペラント大会	日本	財団法人日本エスペラント学会	2008. 10. 11 ～ 2008. 10. 13	一つの言葉による対等な国際（民族）交流を目指し、国際共通語エスペラントの実践者である日本のエスペランチストが年に一度集まり、過去、現在、未来の活動について討論し、交流・親睦を深める催し。 国内・外からの外国人の参加者も交え、国際交流、地域との交流に努めた。
63	20	第11回京都国際学生映画祭	日本	財団法人大学コンソーシアム京都	2008. 11. 22 ～ 2008. 11. 28	国内外の学生映画を発掘・上映して、学生映画をより一般市民に広めたいというコンセプトを基に学生が企画運営を行っているイベント。今回は、国内外の学生映画を紹介するコンペティションプログラムと現役のプロ映画監督の学生時代の作品を上映する特別プログラムを実施。
64	20	ドメスティックアートプロジェクト四方山荘成果展覧会『自家生成美術醸造展』	日本	ドメスティックアートプロジェクト四方山荘実行委員会	2008. 11. 01 ～ 2008. 11. 11	今回はキューバとアメリカからアーティストをレジデンシーアーティストとして招へいし、約1カ月間の滞在制作を経た後、成果物による展覧会を開催。家におけるアートの在り方を軸に、招へいアーティストの滞在制作、アーティストトークやワークショップを実施。 レジデンシープロジェクト終了後にドキュメントアーカイヴとしてカタログを制作。

情報センター事業

	承認年度	事業名	実施国	主催者	期間	事業内容
65	20	第3回中国語スピーチコンテスト	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2008. 12. 07	中国語教育の促進、中国文化の理解の促進及び奨学生派遣のための選考の機会としてスピーチコンテストを開催。高等生、大学生及び一般部門を設け、中国語学習者の持続的な努力を励まし、中国語運用能力の一層の向上を図った。
66	20	エイズ・アウェアネス・ジャズ・コンサート2008	日本	レッド・シューズ・ファンデーション	2008. 11. 30 ~ 2008. 12. 03	エイズに携わる医師・医療関係者、国際協力NGO、国際機関、アフリカ大使などによる講演・パネル討論（第1部）と、中村照夫&ライジング・サン・バンドによるジャズライブ演奏（第2部）を東京都、愛知県、大阪府、山口県で実施。若者にエイズについてのアウェアネス（気づき）の機会を提供。国連大学・世界銀行が共催。
67	20	第24回北方圏国際シンポジウム『オホーツク海と流氷』	日本	北方圏国際シンポジウム実行委員会	2009. 02. 15 ~ 2009. 02. 20	「オホーツク海と流氷」、「地球温暖化と海況、漁況」に関する国際的研究発表の他、市民向けの森林や農業を軸とした環境問題についての公開講座も開催。
68	20	文化遺産を通じて国際貢献を推進するシンポジウム「私の文化遺産再発見」	日本	文化遺産国際協力コンソーシアム	2009. 01. 18	市民向けの国際シンポジウムを開催し、我が国の文化遺産国際協力の内容、その効果等について周知し、国民の理解促進を図った。
69	20	第18回 日中友好の声 日本語中国語弁論大会 / 第4回 日中友好の声 日本語弁論グランドチャンピオン大会	中国	日中友好の声日本語・中国語弁論大会 実行委員会	2009. 02. 28 ~ 2009. 03. 01	日中両国の若者たちがお互いの国の言葉を理解することで友好を促進することを目的に、大学生による日本語・中国語の弁論大会を実施。「私の大事なもの」をテーマに、北京・天津首都圏大会および全中国日本語弁論グランドチャンピオン大会を天津外国語学院で開催。



# 調査研究および情報提供事業等に必要経費

## 企画・評価費

### 1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価（企画評価）

企画・評価費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、成果を広く内外に公開する。

合計額 66,666 円

	事業名	期間	事業内容
1	シンポジウム「今日の世界における国際文化交流の意義」	2009. 1. 26	英国と日本の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルのチーフエグゼクティブの来日を機に、国際交流基金理事長による基調講演、専門家とのパネルディスカッションを通して、日英のこれまでの取組みをレビューし、今後の国際文化交流のあり方を議論。

1. 調査研究費 / (2) 事業評価（企画評価）

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、成果を広く内外に公開する。

合計額 1,944,062 円

	事業名	期間	事業内容
1	評価に関する有識者委員会	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	国際交流基金の業務について、各年度終了後に行う自己評価の妥当性、評価方針、方法ならびに評価結果を踏まえた基金の業務の改善について、有識者の助言を得るための委員会を開催。
2	専門評価	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	平成19年度業務実績報告書の客観性と信頼性を高め、改善点等を把握するため、事業プログラムごとに外部専門家による評価を実施。
3	横浜トリエンナーレ評価	2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	横浜トリエンナーレ2008に関する来場者アンケートを実施し、その結果を分析。

# 調査研究および情報提供事業等に必要な経費

## 文化事情調査費

### 1. 調査研究費

#### (1) 文化事情調査

文化事情調査費

1. 調査研究費 / (1) 文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、相手国別に文化事情を調査し、また、当該国と日本との文化交流において国際交流基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 3,222,789 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外アドバイザー	韓国 イラン 南アフリカ	2008.04.01 ~ 2008.05.31	韓国、南アフリカ、イランのアドバイザーに対して、文化情報収集業務を委託。
2	日越文化交流フォーラム報告書作成	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	対ベトナム文化交流事業の基礎的資料とするため、2008年3月にベトナムで開催された日越文化交流フォーラム（日越の政府関係者、文化関係者が集まり日越文化交流について議論）の会議議事録および関連資料を報告書にまとめて印刷し、関係者に配布。

調査研究および情報提供事業等に必要経費  
国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費
  - (1) 調査研究

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際文化交流研究センターを設置し、国際文化交流に関する基礎的・理論的研究、実証的研究、情報の収集等の事業を実施するために基盤・体制を整備し、主要プロジェクトを軌道に乗せる。

合計額 17,289,182 円

	事業名	期間	事業内容
1	国別評価手法開発	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際文化交流事業の成果、課題、今後のニーズ等を国別の観点から評価する手法を研究。平成20年度は、ドイツにおける評価調査を実施するとともに、データを各種の計量的、定性的分析技法で分析。
2	「平和構築と文化」研究	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に「平和構築と文化」をテーマに研究活動を行い、有識者による講演会（ランチタイムセミナー）（7回）、ゲーテ・インスティトゥートとのラウンドテーブル、及び、有識者による文化イニシャティブ・ラウンドテーブルを開催。また、平和構築アクター調査結果に基づき「平和の為の文化イニシャティブの役割（中間研究報告）」を作成。
3	「地域活性化と国際交流」研究	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に「地域活性化と国際交流」をテーマに研究活動を行い、有識者によるシンポジウム「国際文化フェスティバルと地域社会へのインパクト」を開催。
4	「主要文化交流機関の比較」研究	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に「主要文化交流機関の比較」をテーマに研究活動を行い、ブリティッシュ・カウンシル及びゲーテ・インスティトゥートを取り上げ、先行研究調査や海外出張によるインタビュー調査を実施。また、両機関に関する専門家によるランチタイムセミナーを2回開催。
5	研究紀要刊行	2008.07.10 ~ 2009.03.31	青山学院大学と国際交流基金との提携により、同大学内に設置した「国際交流共同研究センター」において、研究員を中心に行う国際交流研究プロジェクトの成果及び外部専門家による論文・報告を掲載した紀要「Peace and Culture」を500部作成。